

八千浦中学校
学校だより

ゆ め や ち ほ

夢・八千浦

10月号

TEL:025-543-2783 Fax:025-531-1397

令和8年10月23日 発行

E-mail:yachihoj@jorne.or.jp

たよりの内容等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

青空の下で深まる絆、 広がる笑顔



10月は、小中学生の交流活動（絆遠足・あいさつ運動）や八千浦フェスティバルでの合唱など、仲間と力を合わせて取り組む行事が数多くあります。仲間と協力することは、楽しいことばかりではありません。時には思い通りにならなかったり、我慢が必要になったりすることもあるでしょう。しかし、大切なのは結果だけではありません。気持ちが揺れ動く中で互いを理解し、歩み寄り、一緒によりよいものを創り上げていく。その過程にこそ大きな学びがあります。気の合う仲間と過ごす時間は楽しいものですが、自分とは異なる考えや個性をもつ仲間と力を合わせることで、喜びや感動はさらに大きくなります。今、校内には合唱練習の歌声が響いています。のびのびと歌う皆さんの姿を見ると、とても嬉しくなります。合唱の魅力は、一人一人の声が重なり合い、美しいハーモニーを生み出すことです。同じ声ばかりでは豊かな響きは生まれません。それぞれ異なる声や個性があるからこそ、心に響く合唱になります。「ハーモニー」という言葉は、「調和」を司るギリシャ神話の女神ハルモニアに由来するといわれています。異なるものが結び付き、新しい価値を生み出すところに、ハーモニーの本質があるのかもしれません。ぜひこの機会に、普段あまり話をしない仲間にも声をかけてみてください。新しい出会いや発見が、皆さんの世界をさらに広げてくれるはずです。実りの秋です。一つ一つの行事を通して仲間との絆を深め、一人一人にとって実り多い秋となることを願っています。

総合的な学習の時間「地域とともに創る学び Be with」

9月29日から10月1日にかけて、各学年で特色ある総合的な学習を実施しました。

本校では、総合的な学習の時間を、「豊かな心」「健やかなからだ」「確かな学力」を支える大切な学びと捉えています。生徒たちは3年間を通して、地域や社会との関わりの中で、未来を生きる力を育てています。そのため、総合的な学習の時間は、答えを教わる時間ではありません。自ら問いを見付け、仲間と対話しながら考えを深め、自分なりの答えを創り出していく学びの時間となります。

今回、1年生が親子でのモルック体験と金融リテラシー講座、2年生が職場体験学習、3年生が月影の郷での体験学習に取り組みました。さまざまな体験活動を通して、多くの気づきや学びが生まれ、生徒一人一人が自分自身や地域、そして将来について考える貴重な機会となりました。こうした学びを支えてくださった保護者、地域の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



自分たちで創る心地よい学校

学校の笑顔を支える総務委員会!



総務委員会では、「71人で結ぶ輝く笑顔の輪を達成する」を目標に掲げ、全校生徒がより楽しく、より充実した学校生活を送れるよう活動しています。主な活動は、生徒総会や学校行事の企画・運営です。全校生徒の中心となって学校を支え、笑顔あふれる学校づくりに取り組んでいます。

10月7日、総務委員会では、給食の残量を減らすために、全校が楽しく参加できるキャンペーンについて話し合っていました。話し合いでは、「素早く準備をすれば食べる時間が確保できる」「頑張った学級にはご褒美があるとよい」など、多面的な視点から活発に意見が交わされていました。印象的だったのは、その雰囲気です。穏やかで和やかな中にも熱意があり、意見が途切れることはありません。一人一人が仲間の意見を大切に受け止めながら、もっとよくするにはどうしたらよいかと前向きに考えていました。その様子は、まるで大人の会議のようでした。(Cool!)総務委員会は、いつも楽しい活動を企画し

てくれます。しかし、その活動は楽しいだけではありません。学校生活をよりよくしたい、全校生徒に楽しんでほしい、そんな願いや工夫が込められています。だからこそ、多くの生徒に親しまれているのでしょう。そんな総務委員会や生徒会をリードする二人に話を聞いてみました。「生徒会長になって変わったこと」を尋ねると、周りを見るようになったと話してくれました。自分の思いだけでなく、学校全体の状況を考えるようになったことが伝わってきました。また、副会長は、計画を立てて準備をするようになったこと、何をしたいのか、そのために何が必要なのかを考えるようになったこと。二人とも生き生きとした表情で、地域やみんなが喜んでくれたときが一番うれしい、残り少ない学校生活を最後まで盛り上げていきたいと力強く話してくれました。人の喜ぶ顔が見たい。みんなが笑顔になる学校にしたい。そんな思いをもって先頭に立つリーダーたちは、自分のことだけでなく、仲間のことも考えながら歩んでいます。いつも学校のために力を尽くしてくれて、ありがとう。その思いと行動が、学校全体の笑顔につながっています。